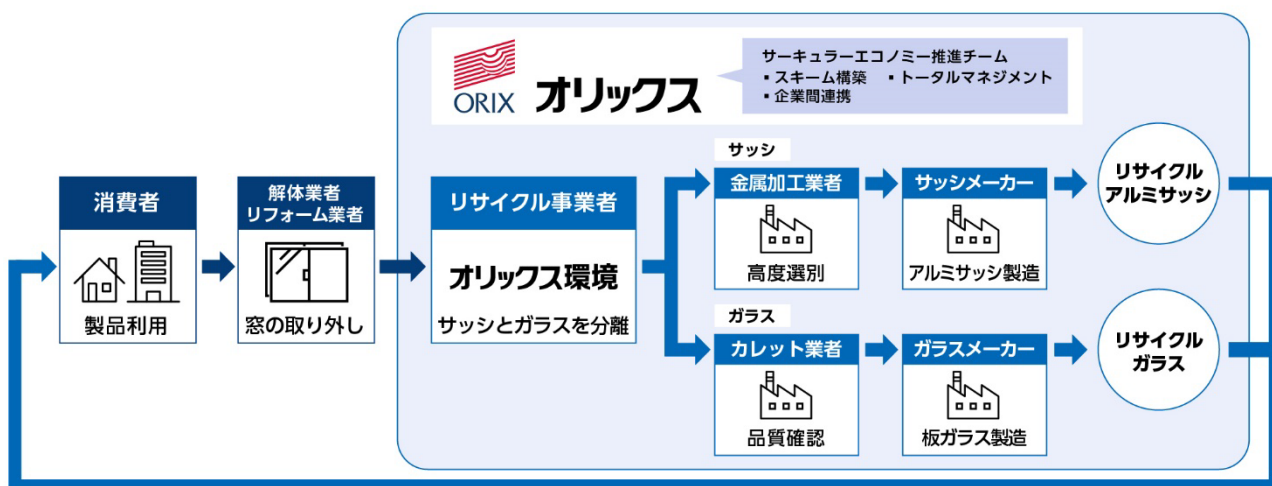


アルミ窓全体の水平リサイクルを実現 ～アルミサッシの循環利用を開始し、環境負荷軽減に貢献～

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：高橋 英丈）およびオリックス環境株式会社（本社：東京都港区、社長：山下 英峰、以下「オリックス環境」）は、このたび、集合住宅などの改修工事や解体工事で廃棄されるアルミサッシの水平リサイクルを開始しますので、お知らせします。すでに取り組んでいる窓ガラスの水平リサイクル※¹とともに、アルミサッシも再生することで、アルミ窓全体の水平リサイクルが可能となります。

「水平リサイクル」とは、使用済み製品を原料として、再び同じ種類の製品を製造するリサイクル手法で、廃棄物の削減や資源の有効活用を通じて、環境負荷を軽減します。今回の取り組みでは、リサイクル事業者であるオリックス環境が解体業者やリフォーム業者から使用済み窓を回収し、アルミサッシとガラスに分離します。その後、アルミサッシは、金属加工業者による高度選別工程を経て、サッシメーカーがリサイクルアルミとしてサッシ製造に再利用します。一方、ガラスは、カレット業者※²によりカレット（ガラス端材）として精製・品質確認された後、ガラスメーカーが新たな建築用板ガラス製造の原料として使用します。今後は、建設・製造・環境分野などの多様な企業と連携しながら、本スキームの全国展開を推進します。

リサイクルアルミは、天然鉱石を必要とせず、精錬に必要なエネルギーも大幅に削減できることから、製造時の GHG 排出量を約 97%削減※³することが可能です。また、ガラスの製造においては、カレットを使用することで、バージン原料※⁴と比べて低温での溶解が可能となり、製造工程における GHG 排出削減※⁵に寄与します。



アルミ窓の水平リサイクル事業スキーム図

オリックスグループは、戦略的投資領域の一つとして「地球温暖化・限りある資源」をテーマに掲げ、これらの解決に向けた取組の一環としてサーキュラーエコノミーの実現を推進しています。今後も、多様な専門性や企業ネットワークを生かし、企業間連携のスキーム構築やマネジメントを通じて、循環型社会の実現に貢献してまいります。

※1 [2025年3月25日付リリース：オリックスグループとAGC、国内初 窓ガラスの水平リサイクル事業のスキームを構築](#)

※2 廃ガラスを粉砕して「カレット」と呼ばれるガラス廃材を製造する専門業者。

※3 出典：一般社団法人 日本アルミニウム協会「アルミニウム VISION 2050」

※4 再利用されていない新しい原材料のこと。

※5 バージン原料をカレットに代替することで、溶解に必要な熱エネルギーを削減でき、ガラス1トンあたり原料調達から製造までで0.5～0.7トンのGHG排出量を削減できる見込み。

以 上

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞

オリックス株式会社 グループ広報・渉外部 TEL：03-3435-3167